

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「17メッセージ」応募用紙



お名前	森 弘美	年齢	36才
ご住所	兵庫 都道府県	神戸 市・郡	

# 「1.17メッセージ」応募用紙

寒風吹き交るあの時、かし草の中から何か使えるものをと探し出し、自転車に積んで坂道を押し上げていた。  
私は身も心もつかれはて、重い自転車を投げ出し、その場に座り込んでしまった。 そんな時だった。

「奥さん、そんなに無理しないで！ 頑張らなくていいですよ、私達がついでにいるじゃないですか」とたまたか知らなけれど、優しいお声だった。 それまで張りつめていた緊張がどつとくずれ、涙を止める事が出来なかった。

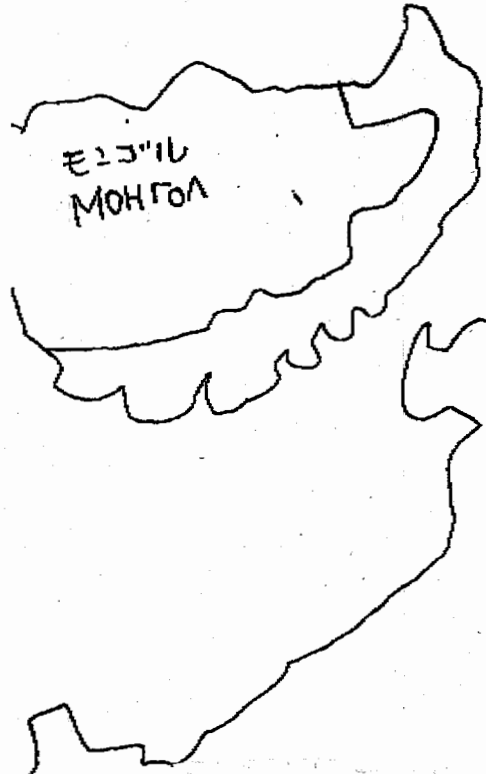
あれから10年、我が家の生活は変わった。大工取人だった夫は倒壊家屋の復旧に全力を注ぎ切っていたある日、高所から転落し、社会復帰不能となるが一命はとりとめた。又、震災当日、1月17日、全壊家屋の中から長男が丸死に一生を得た。この二重の幸運と共に、はげまに下された全国の皆様に向けて、震災体験と教訓を発信している。お世話になった方々に少しでもお返し、しなげ水がとの思いと、突然の災害に一人でも多くの命が助かるとほしいとの願いを込めて、体力の続く限り語りついでいる。  
神戸に声援を送って下さった皆さん。心からありがとうございます。

ふりがな お名前	ひがし た 東田 せつ子	年齢	67才
ご住所	兵庫	都道府県	神戸 (市) 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

1.17の<sup>こころ</sup>がこころ  
 言 織で3年、一人一人の人々に聞いて頂き  
 ました。語る言葉に命があると信じ当館で  
 語り部のボランティアを続けていきます。  
 被災地の体験、そして復興へ向けての  
 経緯は、10年の間に多くの教訓を残し  
 ました。唯言える事は被災地においては、  
 「街が崩壊するだけでなく人の命もいも  
 壊れていく姿です。」<sup>悲</sup>悲惨な事です。  
 私達の出来る事は、どんな災害も人知  
 を越えて襲って来ますが、防災から減災へ  
 転換と被害を少なくする事は、人々の力で出来ます。

ふりがな お名前	柄尾 正信	年齢	58才
ご住所	兵庫 都道府県 神戸 (市) 郡		



神戸  
菅原千津子

(日本モンゴル白樺協会  
会長)

### 震災から10年。元気を出し新たに出发せよ。

1995年1月17日。一瞬にして大切な人々の命と生活を奪ってしまった阪神淡路大震災。日本中、いざ世界中から暖かい支援を受けて、新たに出发しようとしている被災地。そこに人々！ 新たに訪れた街並みと見ると、またまた残るさら地と見ると、各地で頑張っている人達の話を聞いて、あつちの場の深さに胸がしめつけられる。46歳、22年間病院を退職し正看護師の資格を持つ卒業の年、国家試験前、ボランティアで被災地へ出かけ、寒い体育館にモンゴルからの2000枚の白紙の配布が届けられたのを覚えている。寒さの中、1分でも早く副大統領自ら関西国際空港まで迎え下り、迷惑をかけたというお礼とモンゴルへ引き返された後に南まで来た。それ迄から古着があるボランティアとして1人だけ直接行ってお礼を言いたくて強く思っていました。

翌年モンゴルへ行き、以来毎年マニホルトリンの施設や病院を訪問し、社会主義崩壊後の経済状況は悪く人々の生活はとてつもないです。親にお返しマニホルトに住む子供達、一度に訪れると足りない人達、満足は医療機器の不足。昨年11月に神戸赤十字病院からいくつかの医療機器をコンテナ4本でお返しすることができました。又一度人達も訪れる病院をコンテナ1本でお返しすることができました。震災の時のお礼に2005年3月20日、神戸の長田のホールホールで「心のふるさとモンゴル」チャリティコンサートをしました。

マニホルトリンの施設に神戸を振り回す支援のコンサートです。モンゴルのお返しと日本のお返しの一環を被災地から心こめてお返ししたいと思います。



郵便・FAX用

# 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)				
住 所	兵庫	都道府県	神戸	市・町・村
フリガナ名	原口真穂	( 歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

私はまだ生き延びました。でも、上沢地区の火災跡、人々の  
情~~景~~景は残っています。10年を節目に私が 話し  
つづけていきたいです。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住所	兵庫 都道府県 神戸市 (市) 町・村		
フリガナ 氏名	サカタ 隆太郎 (69歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災10周年が思うこと、人間生活で何が一番辛いのか...それは  
地震、雷、火事、親父、と誘いがあつた。正にその通りだと  
思います。10年前も今もその水忘れ去つて、命を守るために何  
をするか?人との及水あ、助け合、思いやり、の力を掲げたい  
。地震知識あきせす、地域で防災訓練も行う、安全で安心

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	
住所	兵庫 都道府県 神戸 (市)・町・村
フリガナ 氏名	田中 邦夫 (71歳) 参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

あの日、全壊の家から這い出して奇跡的に助かった。  
これからこの事「いのち」を大切に生きてい。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県	神戸 市・町・村	
フリガナ氏名	新沢 輝夫 (69歳)	参加総人数 (申込者を含む)	*2人以上の場合に記載して下さい。 人
1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)			
お陰様で大変に道心です。10年の常月、 今年も感謝の気持ちで今般日先を送っています。 金 鉦			



郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住所	兵庫 都道府県) 神戸 (市)・町・村		
フリガナ 氏名	中本 伸一郎 (60歳)	参加総人数 (申込者を含む)	*2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

火難は七つ下町にやってくる。危機管理は  
自己責任で常に一人一人にしたい。火災  
防止に努めてほしい。火災に備えてほしい。

郵送・FAX用 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005・ボランティアスタッフ 参加申込書

住 所	神戸市	TEL	( )
		FAX	( )
連絡先 (住所以外)	〒 -	TEL	( )
		FAX	( )
フリガナ 氏名・年齢	コウダ アサオ 江田 浅夫 (67歳)	性別	

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。忘れぬ感謝と想いを、そして続けるための愛の手を。)

---

城戸美富子 51才  
神戸市

「1.17×ツレ-3」

震災から10年。娘にとつて辛く苦しい年月。  
ピアノの下敷きになつた娘は、生死の境を迷  
つたためぐ生還した。しかし普通に暮して  
ゆくための大切な機能を失つていった。「高次  
脳機能障害」という大変な後遺症を負つた娘  
は才。夢と希望に向かつて輝いて生きていた。  
震災死は、大きく取り上げられ、人々から忘  
れ去られることなく震災犠牲者として語り継  
がれ、ゆくゆくは「のし」。震災で体には大  
きな障害を受け、その後遺症と闘つて生きてゆ  
く人達のこととは、表面に出ず気配のこもも  
らえない。取り残された悔しさの中で、一  
生懸命生きてゐる。健康な体は失つても、  
命ある人は震災犠牲者ではないのか。人のや  
すしさも学んだ震災ならば、命の次に大切な  
のは元氣な体。心の中は、真の復興と言え  
ない。「震災障害者」に過半数のピエールを送つ  
てほしい。そして、明確な「相談窓口」がほ  
しかった。全国に全世界に向けての震災復興  
アピールの中に私達のことは語られず、またか

**郵送・FAX用** 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005・ボランティアスタッフ 参加申込書

住所	神戸市	TEL	( )
連絡先 (住所以外)	〒	FAX	( )
フリガナ 氏名・年齢	木野 幸治	TEL	( )
	(67歳)	FAX	( )
		性別	

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) 震災から10年、神戸の元氣の甦った海を見て下さい。

---



---



---

郵送・FAX用 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005・ボランティアスタッフ 参加申込書

住所	神戸市	TEL	( ) ( ) ( )
連絡先 (住所以外)		FAX	( ) ( ) ( )
フリガナ 氏名・年齢	栗 谷 茂 樹 (71歳)	TEL	( ) ( ) ( )
		FAX	( ) ( ) ( )
		性別	

LINEメッセージ欄 (記入は任意です。)

専業の父・主婦の母が今年もメモリアルウォークのボランティアスタッフとして参加します。10月に区別又新しいボランティアのレジスターにより登録します。

# 「17メッセージ」応募用紙

この震災後 10年になり、あつと言ふ街に  
 過ぎ去ろうとしています。又、風化しない持し  
 子供さんにも 教えて、天災のお恐しさを  
 良く話す機会があり、話しております。  
 現在は「人と防災未来センター」で「ボランティア」の  
 語り部として活動しており、全国から沢山の  
 修学旅行生又は各自治会の団体とか色々  
 で来方々に 震災の話、心からの備え等も  
 語らかせております。今後もどんどん伝えて  
 行きます。

水の大切さ、人々へのコミュニケーション、自治会、  
 町内会でのあり方、避難所も知らない事、  
 又、防災訓練の事、防災グッズ等の事  
 NTTのダイヤル伝言「171」とか、書く事が  
 ありませんか、色々ありますが……。

ふりがな お名前	にし 西	まさひろ 雅一郎	年齢	69才
ご住所	兵庫	都道府県	神戸	市・郡

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「1・17メッセージ」応募用紙

震災より10年私の家も全壊をし、今は再建されて皆さまと助け合いながら暮らしています。10年前のあの時を忘れないように、是非参加したいと思っています。

(お名前) 柳 みさを

(年齢) 72 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

この10年、信じられない事が起こりすぎた。平静な年に戻れば良いと思うが。心機一転環境重視、人類の有様、行末に思いをはせる。真面目に、愚直に生きることが粋なのでは。

(お名前) キクチ ヤスヒロ

(年 齢) 55 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市



ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

自分は震災で父と、元同僚を失いました。これまでの10年を反省し、また明日からの自分を見つめる意味でも、来る10回目の「1.17」を大切に迎えたいと思います。

※去年は神戸市役所横の東遊園地で3日間お手伝いに参加いたしました。

(お名前) 佐野 武 (サノ タケシ)

(年 齢) 47 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

# 「1.17メッセージ」応募用紙

医療機関は災害時には、救いを求める患者さんを万全の体制で受け入れることが使命である。医療従事者の責務として、大震災の体験・教訓から、火災を想定した防火訓練だけでなく、交通途絶を想定した訓練、とくに人材の確保を第一にした訓練が不可欠である。

第二には、混乱する状況、組織が普段とは異なる非常時での指揮命令系統の訓練も必要である。そして、自己判断・自己完結能力も習得する必要がある。10年前の体験から、避難所の仮設診療所には、臨床検査の検査機器が設置され、糖尿病や腎臓病、高血圧や心臓病などの慢性疾患に苦しむ避難所の患者さんに寄与した、仮設診療所に併設された仮設臨床検査室は、100を超える仮設診療所のうち、(社)兵庫県臨床衛生検査技師会が立ち上げた、兵庫区の雪の御所ただ1ヶ所だけでした。臨床検査なしでは、現在医学の治療方針は成立しません。救命センターでの臨床検査体制の整備、とくに災害発生直後の医療機関での検査機器の整備が万全でなければ・・・無念な思いがします。

教訓を風化させることなく、緊急検査機器がライフライン途絶時にも稼動システムと人材確保の体制を構築して、若くして大震災の犠牲となった臨床検査技師の熱き思いに酬いたい。

(お名前) 福田 邦昭

(年齢) 59

(住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

私の姉が家屋倒壊と火災で亡くなりました。当時文化住宅の階下に住んでおり、階下の十数人の人が亡くなりました、あれから10年あっという間です。その地も今では立派に復興し元気になっています。災害時のみんながお互いに助け合い、励ましあったあの時の精神を、平常な時でも続けたいものです。

(お名前) ト部 浩企 (ウラベ コウキ)

(年 齢) 65 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

阪神淡路大震災より十年！

当時勤務の私立幼稚園は全壊しました。

残念ながら職員一人は犠牲に、発生が早朝で

あったことが何よりの救いでした。周囲も惨

たんたるもので園児の状況を知る為、避難所

を巡り歩きました。ライフラインがたたれ、

日が過ぎるにつれ遠方へ避難する家庭が多く

自宅の電話一本が連絡のためでした。

倒壊物を前に理事長共々ぼう然の思いでした。

漸く二月半ばに撤去されたことを機に仮設園



舎の工事も三月に始まることになりました。

この間には、国、県市の幼稚園協会よりの

支援はもとより、交通便の悪いにもかかわず

何日も手伝いに、お見舞いにかけてくださ

った方々に感謝の思いでいっぱいでした。

三月三十日に仮設園舎は間に合い、地震以来

始めて顔を合わせ中、卒園式、終業式も行

なうことができ感無量でした。ログハウスの

提供、更地での慰問、式の日には飾る紙風船や

ホッペの提供、東京の園から手づくり袋のつ

レゼント等々。多くの支援がありました。  
 三学期の大切な活動ができず、園児減によ  
 る止むを得ない職員とのわかれが悔やまれま  
 した。卒園生、その家族の方々が多数犠牲に  
 なられました。現在も毎年の園創設者の慰霊  
 祭には、物故の方々の慰霊もさせていただ  
 いております。私は震災の平成六年度末に園を  
 離れましたが新しい街、新しい園舎での歩み  
 は続いておりません。最後に自衛隊による行方  
 不明者の捜索、各県各地よりの給水活動その  
 他、非常時に於ける神戸市民に対する人々の  
 温かい心情がこの時ほど心に染みたくはあ  
 りませんでした。有難うございました。

神戸市

前川史子

七十一歳

## 「1.17メッセージ」応募用紙

十年近くたった今でもよく覚えています、朝早くに地震が阪神地区を襲ったあの日の事を。地震直後は食器棚のスライドドアのガラスが割れ、中身がほとんど割れ落ちていました。ライフラインは断たれ、寒く暗い家の中でなにも出来ずにただ早く余震がおさまって欲しいと願っていた事も覚えています。

しかし、そのような事よりもはっきりと記憶に残っていることがあります。その記憶とは、被災生活の中で沢山の救援物資や励ましの声により元気づけられたことです。今でもその時の事を本当に感謝しております。

その経験によって中越の地震に対して自分が小さな動きでも出来ないかと考えてみたりもしました。私に出来た事といえば少しの募金を送ることだけでしたが、これでほんの少しでも元気を出していただければ幸いです。

被災地で体験した経験から私はもっと日本に住んでいる人が年齢や性別、出身や思想に関わらずお互いに協力して助け合える社会になっていけば良いと思います。

このメッセージを読んだ皆様、どうか見えない所にいる、困っている誰かの為にほんの少しでも動いてあげてください。きっとその人は励まされ、元気になることが出来ますから。

\_\_\_\_\_  
多 久 和 頌

\_\_\_\_\_  
20 歳

\_\_\_\_\_  
兵 庫 県 神 戸 市

紙 用 募 應 答 7 月 1 日 1995 年 1 月 17 日



(お名前) <sup>いんげん けんこ</sup> 飯登 庵 恒心 (藤井 敏生)

(年齢) 56 才

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

震災の10年、遠くへ行かざるに又昨日の日暮り。そして神戸と異な  
 地域で一時の間全滅。今までの生活はどのくらい価値あるか。変化。  
 死んで友人、全壊して友人、といふ人々がいる。生きて来た人は誰か、  
 人の命で生きてきた者がある。おまかせとしよう。  
 震災後、生活の途中で再建し、望むところと暮らす。母の亡くした時の記憶の  
 子と今生と。2010年の今までの人生を振り返る。おまかせ。  
 何が人生の目的か。おまかせ(内心の不安はあ、だが)人の元氣や甘えと  
 云いながら悲しいから助けてくれと。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 何かを思い出さず、新しい生活を送る。新しい生活を送る。おまかせ。  
 又豪雪地帯にあり、その困難を想像して。おまかせ。  
 いろいろな人々の助けを借りて。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 被災地の復興を。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 全壊して。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 被災地。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 被災地。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 被災地。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
 被災地。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。

お名前	おまかせ	年齢	68才
ご住所	兵庫 都道府県		神戸 市・郡



「ありがとうごさいました!!」

あの日の我が家は無残に崩壊し身も心も打ち砕かれまゝだ。しかし、瓦礫を踏み分け、遠方から駆けつけてくれた友人や親類の者達、それに加力に満ち溢れた若いボランティアの若達り慰めと励ましに、何人そといふ愛が湧きまゝだ。中でも秋田の青森から来たウヰルというカプセルには言葉では言いつくせない感謝の気持ちが今もなお心から湧きあがりません。「ほんとうにありがとうごさいました」愛の力が救きとてとくたりました。妻は身障者手帳を愛の再建に努めております。お陰で松達は日神さん、奥田さん、長生さん、高橋さん、平井さんとの縁り合せて「元気出そうぜ」市民の皆さんとボランティアで活動して下さる皆さんやボランティアを繞り、一方で21世紀を生きる若者に夢と希望を」と中学校、大学、学生をはじめ若い男女と縁り合ひ、交際を繰り返して彼らのサポートに励んでいます。

「ホッパ、ステップ、ジャンプ」と  
常にチャレンジする心を持ち続けて  
全国の皆さんのご恩に報いる  
覚悟で居ります。

神代

前田 雄三 七三六

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫	都道府県	神奈
フリガナ 氏 名	園 口 博 敏 (72歳)	参加総人数 (申込者を含む)	1人

※2人以上の場合に記載して下さい。

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) 1.17ひょうごメモリアルウォークの  
 最初の年は県立文化体育館から歩き、2年目から沿道案内と  
 HAT神奈の場内清掃に参加してきました。が長岡からの  
 歩く人が年々少なくなり様に感じられるので来年は歩きます。  
 歩いて沿道の人に声かけを思い出してもらうために、アピールします。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫県 都道府県	神戸市	⑩ 町・村
フリガナ 氏 名	木本 真 子	(22歳)	参加総人数 (申込者を含む) <span style="float:right">*2人以上の場合に記載して下さい。</span> 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

阪本申三は、各々歳から10年が立ちぬは復讐していらるやうに  
見えまふがまだまだげんしつはあつちがほして20年30年経た  
なくて復讐した申戸状見れたらいいな思ひます。それから  
が人ばつていおたつと思ひます。今16歳10年後には不惑に  
なつていらるけど申戸状どかたになつていおし思ひます。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県	神戸 市・町・村	
フリガナ 氏 名	上 角 良 子 (68歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) 紀宮さまご挨拶のためどう存じます。  
 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005でボランティアに参加し、特に紀宮さまと  
 ご一緒に参加させていただき感激でした。  
 家族全員の皆様への思いやりに感謝し、音楽に癒されました。  
 一緒に合唱し、レクリエーションに話し、新しい力の中希望の笑顔を忘れず生きていきたいと思います。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫県神戸市		
フリガナ 氏 名	サリト アキラ 藤本 章	78歳	参加総人数 (申込者を含む) 人

※2人以上の場合に記載して下さい。

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

神戸から元気を発信しよう。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県) 神戸 (市)町・村		
フリガナ 氏 名	田中 三正 (75歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

あの1.17は早くも10月の月夜か流石に神戸の人口も減る所か増え続け  
街の中も一応復興は進んでるが賑わいはまだ来ず。遠くから若い人のボランティア  
がかけつけて下さり感謝の念で一杯です。今新潟地震では今度は  
あの時の恩返しと神戸の若者が新潟でボランティアをやっていて私も羨望です。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	
住所	兵庫県 都道府県) 神戸市 東灘区
フリガナ 氏名	田中 敬子 (70歳)
参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

大倉山公園は家の前です。是非参加したいです。大作の参加したいです。今後は  
は節目の10日です。今から準備しています。10年前の5月6日の探検は、今  
の中に残っています。後片の中で、何か中学校の校歌を唄ってみたい。  
街は大通りに近い復興です。手と手は、絆を深めたいです。是非参加したいです。

住 所	神戸市	TEL ( )	
		FAX: ( )	
連絡先 (住所以外)	〒 -	TEL ( )	
		FAX: ( )	
フリガナ 氏名・年齢	江田 浅夫 (67歳)	性別	

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。忘れない感謝と想いを、そして続けるための愛の手を。)



**郵送・FAX用** 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005・ボランティアスタッフ 参加申込書

住 所	神戸市	TEL ( ) ( )	
		FAX ( ) ( )	
連絡先 (住所以外)	〒	TEL ( ) ( )	
		FAX ( ) ( )	
フリガナ 氏名・年齢	オオカワ 聡子 大川 聡子	(57歳)	性別

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) “人”という字は支え合っただけでいいです。  
私達も“人”にはなります。

**郵送・FAX用** 1.17ひょうごメモリアルウォーク2005・ボランティアスタッフ 参加申込書

住 所	神戸市	TEL ( )	
		FAX ( )	
連絡先 (住所以外)	神戸市	TEL ( )	
		FAX ( )	
フリガナ 氏名・年齢	東海林 節子 (61歳)	性別	

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) あれから10年 いろいろ思ひ出さへます 私にできる事で  
人とつよがって生きていきたいと思います 1.17は忘れられません。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府(県) 神戸 (市) 町・村		
ノリガナ 氏 名	倉橋 一博 (72歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記録して下さい。 人
1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)			
震災当時の 皆々で声を掛け合ひ 助け合ひ 励みあつた あの精神と行動力を 絶えず 矢張り私に 生かそう!!			

切り取り

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県	神戸	(市)・町・村
フリガナ 氏 名	東海林 節子	(61歳)	参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

1.17は忘れません。

# 「1.17メッセージ」応募用紙

もう一度と震災が無いほうがいい)

ふりがな お名前	井出 大重南	年齢	11 才
ご住所	兵庫	都道府県	神戸 (市・郡)

# 「1.17メッセージ」応募用紙

~~三度~~、大いしんが"あにうなり"のように  
したい。

ふりがな お名前	溝本恭太	年齢	12才
ご住所	兵庫県	都道府県	神戸市

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住所	兵庫県神戸市		
フリガナ 氏名	松下 晴孝 (80歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

地震、台風等、自然災害は防ぐことは出来ません。被災したら落胆せず  
明日の希望をもつて復旧の手伝いをしましょう。私も家が全壊して成徳  
小学校に2ヶ月居りましたが校門で交通整理の手伝いをしました。  
遠くからボランティアにまわられたのが有難うございました。お陰で80才になった現役も大病も  
せず暮らしています。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫県道府 神戸 市・町・村		
フリガナ 氏 名	塚本 勝春 (66歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災や培われた「やさしさ」「思いやり」「夏之めぐみ」を後世に  
伝えよう。



郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県 神戸	(市) 町・村	
フリガナ 氏 名	蔡 耀 東 (72歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

早や10年先の時各国各地からたくさんの救援物資をいただき有難う、  
あつひ寒さにはふるえていたお母さんを見て若い青年があつたかり毛布を一枚  
もって来た、その時初めて人の温かさを感じた事はありせん  
一生忘れる事はありせん。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県) 神戸 (市)・町・村		
フリガナ 氏 名	蔡 洪 孫 瑛 (65歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災を通じて多くの方から救護物資をいただき有難う  
 おく各地からボランティアが避難所に来て便所の清掃や  
 食料の分配 物他色々やってくれていて感謝しています  
 一生忘れる事ありません。

# 「1.17メッセージ」応募用紙

大地の底から「ゴォー」と不気味な音が聞こえてその音が、しだいに近づいてきたと思った瞬間、大震災の始まりでした。形あるものは壊れて、余震とともに、だんだんまわりの景色がかわっていく様は本当に悲しかった。しかし、音楽は素晴らしいなと思います。曲を聞いてるうちに、心が和み、しだいに、心身の回復を、皆様のおかげで、取りもどす事ができました。感謝しております。ありがとうございました。

お名前	さわ だ 豊子	年齢	59 才
住所	兵庫 都道府県	神戸 市・郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

大きな響きと立ち上れない大きなゆれに目覚め一瞬何が起きたのか？  
 「地震だ」と理解したものの、もう屋根が落ちてくると恐れ「必死で」  
 イットにしがみついた。ヤフと大ゆれが止まって「助かった」と足の踏み場  
 はない部屋から外に逃れたものの、60数年の人生で初めての体験に体が  
 震えた。

それから10年。窓ガラスが割れ、ピアノが倒れ、手紙も落ち散らした保育室  
 で必死で片付け、割れた水道管やガラス等の応急修理をして幼稚園を  
 再開し、幼児の心の癒しをばかりで安全な施設となるよう、大修理を行  
 いました。多額の修理費について文部省の補助金を受け、電車と船  
 と地下鉄と乗り継いでやっと新大阪にたどりつき、上幸して説明会に参  
 加し、徹夜してやっとの思いで書類を作成し、ついに2月1日の思い出も  
 年月と共に薄れて行く。

大切な子どもの命と預かるその使命を思うと、あの大災害と決して忘れ事  
 なく、何時までも心に留め、日々園児の安心と安全を第一目標に取り  
 組んでいかなければならないと10周年を迎え心を引き締めたい。

お名前	あか かの あきこ 並川 明子	年齢	74才
住所	兵庫 都道府県	神戸	市 区

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「1.17メッセージ」応募用紙

震災後 2~3 日多くのボランティアの若者たちが国道を歩いて電車が動く駅まで怒涛のごと歩いている姿を見て感動で涙がこぼれました。それが毎日、毎日でした。

私は水と電気で、使えるレンジやポットを 5 時間以上かけて須磨区から東灘区の親戚の家にはこびました。

日本の若者、そして人々のつながりを強く感じこの国に生まれてよかったと思いました。

(お名前) 前田月子 (マエダ ツキコ)

(年齢) 67 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

あの日の朝、高校受験を控え、5時に起きて勉強していたところの地震でした。神戸市内西部の我が家は揺れだけで被害はなかったものの、ライフラインの断絶は続き、ようやく見られたテレビの報道で同じように受験勉強をされていて亡くなった人がいることを知りました。

10年経った今でも忘れず、勉強できる喜びをかみ締めています。

(お名前) 吉田祥恵 (ヨシダサチエ)

(年 齢) 25 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

10年の節目を迎え、被災された方々へのご冥福とご健康を祈り、今年もお手伝いさせていただきます。

(お名前) 永井正義 (ナガイ マサヨシ)

(年 齢) 66 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

# 「1.17メッセージ」応募用紙

追悼のうた

震災10周年  
追悼のうた

一、見あげれば六甲の山なみ

明けそめた蒼空を稜線が区切る

今年とまた変らぬ朝が還つたり水と

あなははもう帰つてこない

昔一かつたわらうねお母さん

~~お母さんお母さんお母さん~~

つめたかつたわらうねおしんちゃん

重たかつたわらうねお姉ちゃん

思いおと溢れる涙は晝まではいりくと

強く生きよう あなはのめんえ

二、見はるかす淡路の海よ

いそり下は朝光の中かすかに揺りし

音高く遠くに帰つてくるけど

あなははもう帰つてこない

昔一かつたわらうねお父さん

つめたかつたわらうねお兄ちゃん

重たかつたわらうねお兄ちゃん

二母年のこの日の朝は悲しいけれど

強く生きよう あなはのめんえ

ふりがな お名前	いけがみ 池 上	たか 孝	お 碓	年 齢	34 才
ご住所	兵庫	都道府(県)	神戸	(市) 郡	



郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	
住 所	兵庫 都道府(県) 神戸 (市) 町・村
フリガナ 氏 名	小島 克雄 (69歳) 参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

災害発生の場合、現場にかけつけた人々は目先のことに  
追われて混乱が生じるので、偉い人が来るとだけ  
早く現場に行き、判断して自衛隊や他府県の支援を  
求めたい。(あとからお供えついで視察可も必要はない)

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等  
(希望コースに○を  
付けて下さい)

住 所

兵庫

都道府県

神戸

市・町・村

フリガナ  
氏 名

松井 綾子 (62歳)

参加総人数  
(申込者を含む)

※2人以上の場合に記載して下さい。

人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

毎年メモリアルウォークに参加させていただきありがとうございます。  
歩くことで 街・人・樹木から 清気もいただき 元気の今の生き方も  
残したいと願っています。

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

## 「人の繋がりと感謝の気持ち」

震災当時、私の家は倒壊を免れたが周囲の家はほとんど倒壊し、瓦礫の下から助けを求める声が聞こえ悲慘な状況にあった。救出作業は少人数であり道具もなく困難を極めたが、近所の人達を無事助けることが出来た時の喜びは今でも鮮明に記憶している。

未曾有の大地震で周りはパニック状態であり自治会組織は機能せず、地域の防災組織も整備されていないことから小集団で行動せざるを得なく、避難場所の確保にも苦労した。近所の幼友達が「私のマンションの集会所が空いているから」と声をかけて頂いた時は、感謝の気持ちで一杯だったのを覚えている。

共同避難生活は約4週間に及んだ。その間ライフラインは使用できず不自由な生活を強いられたが、ボランティアの方達のご支援、暖かい励ましの言葉に私達はどんなに勇気付けられたことか、改めて全国の皆様にお礼申し上げます。

私自身、この震災で近隣との繋がりが如何に大切か、身を持って体験したことから自治会組織、地域防災組織にも積極的に参加し微力ながら地域社会に貢献できるよう努力しています。

ふりがな お名前	栗澤 潔	年齢	61 才
ご住所	兵庫 都道府県	神戸 市・郡	

ひょうごメモリアルウォーク 2005に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「1・17メッセージ」応募用紙

震災から10年をむかえ、次の10年は自然災害に強いまちづくり、  
自然災害に強い県民感覚、それに助け合いの心の育成を推進しよう

(お名前) 北原 由弘 (キタハラ ヨシヒロ)

(年齢) 63 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

日々の生活に追われ、ついつい忘れがちになるあの日のことを思い出す機会があることで、これからの人生の貴重な糧にしたいと思います。

(お名前) 増田貴志 (マスダ タカシ)

(年 齢) 55 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

あの震災で自宅が倒壊したというのに、震災の体験が年を追って風化していく自分が怖い。せめてもの思いで毎年メモリアル・ウォークに参加し、2回目からは出発地点での受付作業のお手伝いをさせて頂いている。

(お名前) 山本 文隆 (ヤマモト フミタカ)

(年 齢) 66 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に  
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

## 「1.17メッセージ」応募用紙

戦争の凄惨さを私たちの親が私たちに語り継いだように、震災の経験を私たちは私たちの子に語り継がねば、と思います。

(お名前) 小林功敬

(年齢) 43 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県 神戸 市・町・村		
フリガナ 氏 名	永富 康弘 (68歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

人生ってすべてで「よう震災忘れずがんばろう



郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)				
住 所	兵庫	都道府県	神戸	市・町・村
フリガナ 氏 名	小林 玄子 (61歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人	

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

気がつけばあっと言うまの10年でした。当日に友人のあ  
父さんが 実家の母がしたじまになり長男に引きとられて奥  
東に行き体調をくずしてなくなりました。色々な思いを  
胸に今日歩きたいを思っております。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県 神戸 市・町・村		
氏 名	ヒサカワ マサヒロ 久川 正博 (54歳)	参加総人数 (申込者を含む)	*2人以上の場合に記載して下さい。 人

17メッセージ欄 (記入は任意です)

新潟の皆さん、おかげさまで兵庫は復興しました。  
今は苦しいけど、新潟も全国の皆さんが  
応援してくれています。お身体に気をつけ？  
必ず、兵庫のように復興して下さいね。皆さん協力して

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	
住 所	兵庫 都道府(県) 神戸 (市) 町・村
フリガナ 氏 名	ホン ジョウ カズ オ 本 莊 和 夫 (84歳)
参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

未曾有の震災に見舞われ、ともすれば失意におち入り、自己を見失なわんと  
する時、多くの人々の善意と励ましをうけ、今日まで、つつがなく生活できた  
ことを深く感謝し、幽明境を異にした方々のご冥福を心からお祈り致し  
ます。

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

6,400人を超える尊い命を奪ったあの阪神・淡路大震災から丸10年。瓦礫の山と化し灰色の空気に覆われた街からようやく立ち直ってきたように思います。私も東灘区で被災し、近隣の人たちに救出されて九死に一生を得ました。そのあと小学校の体育館で避難生活も経験しました。神戸に住んでいて自分がこんな目に遭うなんて夢にも思っていませんでした。今は震災から得た体験を、無念にも亡くなっていった人々に代わり『兵庫県人と防災未来センター』で語り部として次代に引き継ぐことが自分の使命であると考えています。二重苦、三重苦に喘いできた被災者たちがここにきてやっと心の安らぎと癒やしを得たような気がします。しかしながらあのときのショックとその後歩んだ長い困難な道のりは、被災者の心から消え去ることはないでしょう。全国から戴いた支援と善意を無駄にすることなく、強く生きていかなければならないと思う毎日です。

ふりがな お名前	みずぐち ふうひろ	年齢	70才
ご住所	兵庫 都道府県	神戸 市郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

1/2

# 「1.17メッセージ」応募用紙

全国の皆様に支援を感謝して書かせて頂きました。  
よろしくお願ひ致します。

ふりがな お名前	荻野 君子	年齢	62 才
ご住所	兵庫 都道府(県) 神	(市) 郡	

一、十七は忘れない

神命 萩野 君子

阪神・淡路大震災より、早くも十年が経ちました。その節には、全国よりご支援を頂きまして、<sup>本当に</sup>有難とうございました。私宅では、木造二階建の家が、一階が押しつぶされ二階が格調コタツの所迄、落ちて来て、夫婦一階で寝ていて生き埋めになり、家の外観から見るとバイク二台が家の下敷になりカソリンがもれていて危機一発、ここで人生終りかも？の

所より偶然にもお隣さんが半壊で大工さんでしたので専門知識と道具が有り奇跡的に命拾いをさせて頂きました。生き埋めに成って本当に満足に空気を吸えず怖い体験をし、あたり前の様に吸っていきすが空一杯吸える事に感謝しています。命を助けて頂いた事に感謝して前向きに精一杯生きて行く事にして、住宅再建も二重ローンでしたが子ども二人は成人しておりましたので一部繰上返済をくり返し、退職金も投入して返済を済ませました。

今住んでいるこの家は命の恩人の隣の大工さんに建てて頂き、また地震後、人生観も変わり語り部のボランティアを夫婦共々にやりながら年金暮しを元気にやっております。

## 「1.17メッセージ」応募用紙

あれから10年も経つのですね。私たちは地震が起こったこともビックリしました。でも、それ以上に神戸で起こったことが一番の驚きでした。そこには父が一人で住んでいたんですからね。地震がおさまって、テレビをつけてみると…震度を知らせていたかと思うと、六甲道駅が崩れた映像…それを見て母が発した言葉でその周辺に住んでいることを知った私たち。近くて遠い神戸…。あの時、携帯電話が今みたいに普及していたら…。全然連絡はとれぬまま、私たちは学校に向かいました。学校で地震の話になると怖くなっていました。父が心配だけど、何も分からない。早く家に帰りたい…それだけをずっと思っていました。夕方に地元に帰ってこれると言うことが分かった時、嬉しかった。安心した。あの時の気持ちだけは今でも忘れられません。今、私一人が神戸に住んでいます。実家には両親とたち達が住んでいます。10年前、父が住んでいた神戸に住んでいるかと思うと…何だか不思議な感じですが、でも、何か縁があるような気がします。

(お名前) 石田朱美 (いしだあけみ)

(年齢) 19

(住所) 兵庫県神戸市

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

阪神大震災の教訓として  
先づ火元を点検して即避難所定の  
場所例えば学校・公園等  
火災ひたくな人が沢山おまると  
残念です。助けてくれの声か聴えども  
家屋倒壊で道路がふさがり消防車  
の動力は困難である。即自衛隊の要請  
は自治体長(市長・知事)の権限にする。  
神戸は海・貯水池からのへりからの消火活動  
に活動し初期消火に務める。

ふりがな お名前	古館 武衣雄	年齢	78 才
ご住所	兵庫県神戸市	市・郡	



平成 16 年 11 月 29 日

作成者 小谷 元子

10 年前主人が、大腸癌の手術を受けて 2 ヶ月目で自宅療養中のことでした。

体は、やせ細りまだぐっすり眠って居た頭に本棚が落ちてきて額を少し切り血は少しですが出ていました。

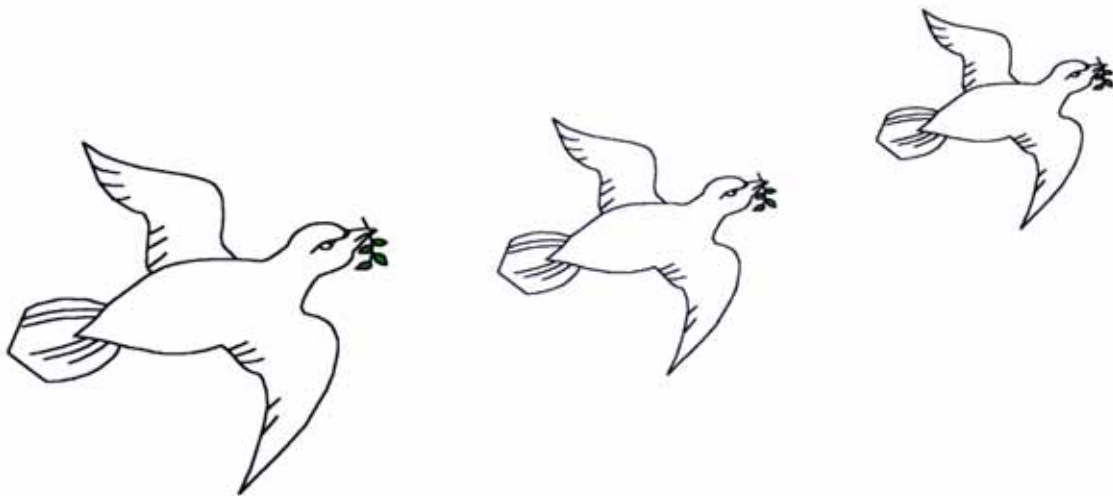
家族 4 人服を着込んで外に出たところ沢山の人達が立ちすくんで口々に「すごかったね」「びっくりしたね」「家の中みんなひっくりかえってしもてるで」「何\* 無かった？」と声を掛け合いながら無事を確認していたのです。

すると市場が燃えているとの声聞こえ東の空を見上げると 14 階建の私達の住宅を越えて真っ赤な炎が上がっていたのです。住人は皆 2 階から飛び降りて無事だったと聞かされ安心したけど足元がガタガタと震えていたのを今でも覚えています。私の住宅も大丈夫でした。

主人が勤めている市場は、くの字にへしゃけてべしゃんこになり 2 年間プレハブ住宅で

店を再開しその後は、兵庫県の復興支援金でお店を立て直し（現在も返済中）癌の手術から 10 年、日曜日は友達とサークルを結成しスポーツ（テニス）を楽しみ 1 人でお店を営んでいます。私は長年勤めた会社がつぶれて今は失業中ですが、ヘルパー 2 級の資格を取得しているので、ホームヘルパーか介護の仕事に就き人に喜んでもらえることがしたいと思っています。

中越地震で被害に遭った方々国や県皆ほっておかないですから頑張ってください。



阪神・淡路大震災10周年記念

## 「1.17メッセージ」応募用紙

Large empty rectangular area for writing the message.

ふりがな お名前	こはに もとこ 小谷 元子	年齢	55才
ご住所	兵庫	都道府県	神戸
			市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

新潟中越地震で被害に遭われた方々のこれからへの長い苦労を思うにつけ、10年前の私達の壊滅から今<sup>日</sup>迄復興に向けて頑張れたことはお世話になった方々のお陰<sup>様</sup>感謝する気持ち一杯です <sup>お返し</sup>  
 どうか災害はこれから、どこにでも起こりうる事ですが、このまま人々の心に同化せず後世に残して、どんな過酷な状況の中でも、協力しあい、あきらめず、互ち何かう心でそれぞれができる限りを尽くす、態勢を持つことだと思いました、それが現在生かされている者の使命だと思ひます。  
 最後に亡くなられた方の魂が安らかにありますようにお祈りします。

ふりがな お名前	ふじ き とし こ 藤 木 敏 子	年 齢	63 才
ご住所	兵庫 都道府県 神戸 市 郡		